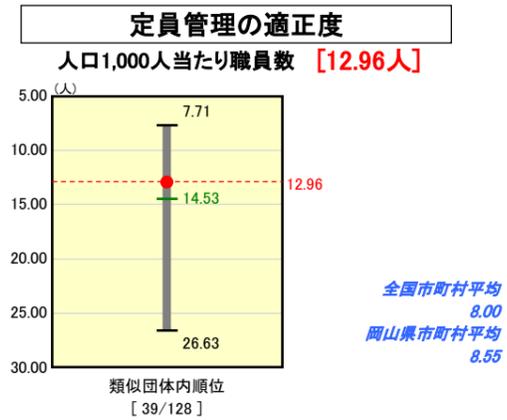
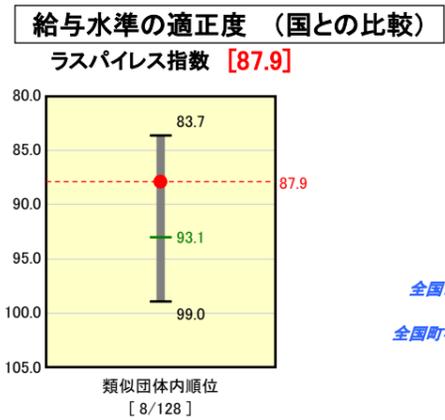
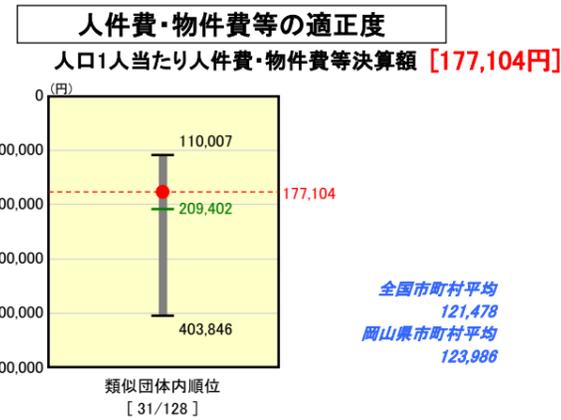
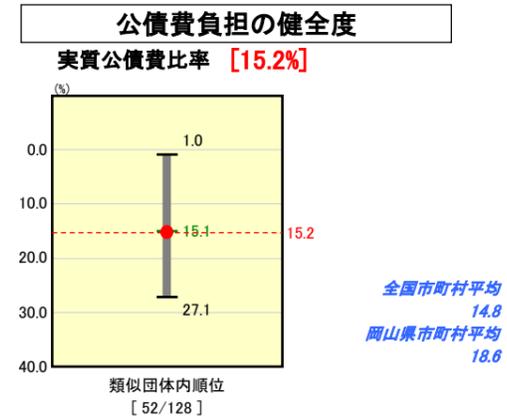
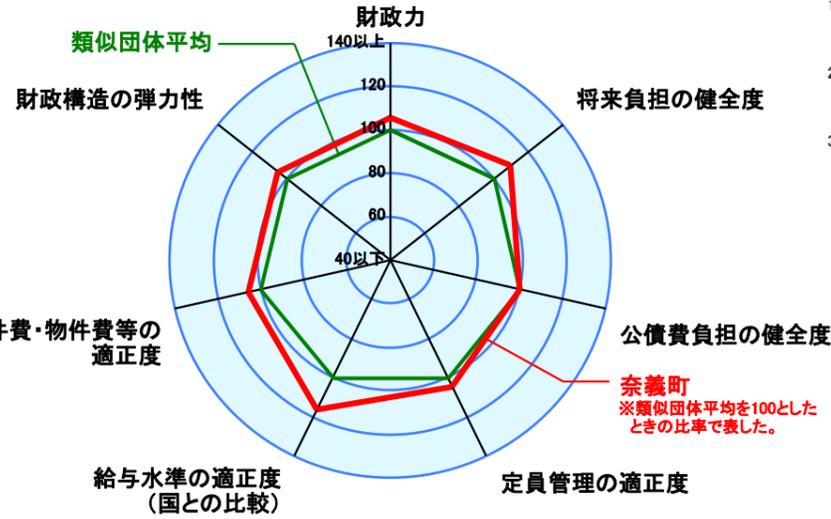
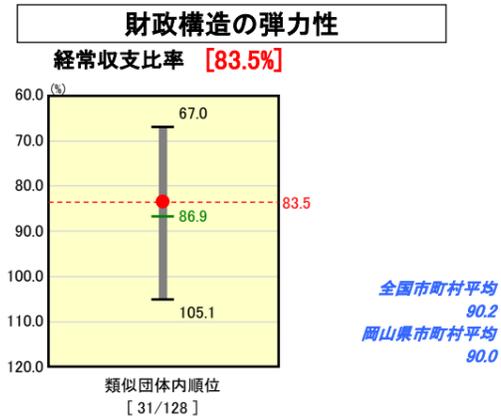
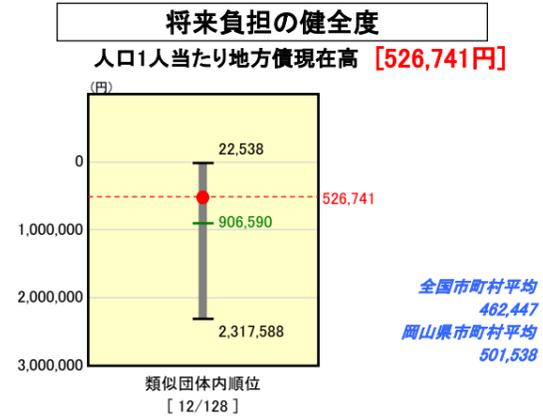
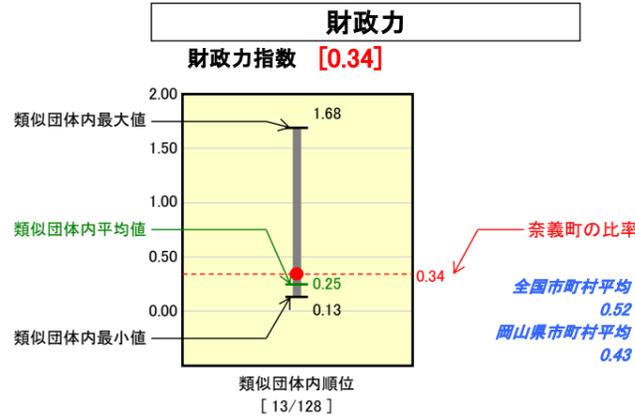


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 岡山県 奈義町

人口	6,713 人(H18.3.31現在)
面積	69.54 km <sup>2</sup>
歳入総額	3,901,749 千円
歳出総額	3,567,528 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**： 財政力指数の分母となる基準財政需要額が年々減少していることで、結果的には類似団体の中でも高水準にあるが、引き続き収支等の徴収率などの向上に努め、安定した歳入確保を図る必要がある。

**経常収支比率**： 義務的経費の扶助費(医療費助成など)が増大したものの、人件費の抑制や経常一般財源となる地方交付税・地方譲与税等の歳入が確保できたため、類似団体平均と比較すると低い状況にある。今後も行財政改革への取り組みを通じて歳入削減に努め、現在の水準を維持する。

**ラスパイレズ指数**： 全国平均及び類似団体の中でも低い水準となっている。

**実質公債費比率**： 昨年度より起債の償還が減少したことなどにより、平成17年度はほぼ類似団体平均上にある。今後は下水道事業の繰出金の増大に注意するとともに、起債依存型の事業実施を見直し、健全な財政運営に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**： 起債抑制策により、類似団体平均を下回っているが、引き続き水準以下に抑える。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**： 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の1人当たりの金額が類似団体平均を下回っているのは、主に人件費の削減が要因となっている。物件費が昨年より増となっているが、今後も需用費等の経費について見直し、抑制していく必要がある。

**人口1,000人当たり職員数**： 全国平均より高い傾向にあるが、類似団体よりは低い水準にある。今後も住民サービスの低下を招かないよう、適正な人員配置を行う。